

参加者募集 No.1-11シンポジウム

ガス燃料エンジンの現状と将来

問合せ先：育成・イベントグループ 大平 Tel. 03-3262-8214 Fax. 03-3261-2204
【URL】 <http://www.jsae.or.jp/sympo/2011/scdl.php> E-mail: sympo@jsae.or.jp

日時：2011年10月24日(月) 9:30～17:15
会場：東京理科大学 森戸記念館 第1フォーラム(地下1F)
(東京都新宿区神楽坂4-2-2)
主催：公益社団法人自動車技術会
企画：ガス燃料エンジン部門委員会
協賛：(財)運輸低公害車普及機構・天然ガス鉱業会・(一社)日本ガス協会・(一社)日本機械学会・(一社)日本燃焼学会・(公)日本マリンエンジニアリング学会・(社)日本陸用内燃機関協会

定員：90名

参加費：(消費税込・テキスト1冊込)

正会員 15,750円 学生会員 3,150円

賛助会員 22,050円 一般の方 31,500円

協賛学協会の会員 22,050円

参加申込方法：次のいずれかの方法でお申込み下さい。

①オンライン参加登録：(カード決済ができるようになりました) イベントカレンダー(【URL】 <http://www.jsae.or.jp/calendar/>) またはシンポジウムページ(【URL】 <http://www.jsae.or.jp/sympo/2011/scdl.php>)

②インターネットをご利用できない方：
上記、問合せ先へご連絡下さい。

参加申込締切日：2011年10月17日(月)

参加申込キャンセルについて：

申込締切日まで：キャンセル料は発生いたしません。ご入金済の場合は、送金手数料を除き返金いたします。

申込締切日翌日以降：ご出欠にかかわらずキャンセル料として、参加費全額をお申し受けます。なお、開催終了後、テキストは送付いたします。

参加のおすすめ

シェールガス革命により天然ガスの利用は今後ますます進むと思われれます。ポスト石油系燃料として、将来のエネルギー安全保障の観点からも、天然ガスをはじめとしたガス燃料は非常に重要な選択肢の一つと考えられます。ここでは、世界の天然ガス事情、燃料動向とガス燃料の持つ潜在能力、トラック分野でのガス燃料車の普及に関する話題から始まり、基礎的な燃焼の改善とシミュレーションの現状、さらに、インドにおけるCNG/LPGのBifuel車や最新の発電用エンジンについて紹介します。是非、お誘い合わせの上、ご参加ください。

ガス燃料エンジン部門委員会委員長 富田栄二

ガス燃料エンジン部門委員会



委員長
富田栄二



幹事
大橋稔生



幹事
松木正人



幹事
吉野多賀志

プログラム：

9:30 開会挨拶 ガス燃料エンジン部門委員会委員長
岡山大学 富田栄二氏

司会 大橋稔生氏((一社)日本ガス協会)

9:35 黄金期?に向かう世界の天然ガス事情
(独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構 石井 彰氏

10:25 世界の燃料動向とガス燃料のポテンシャル
(独)産業技術総合研究所 後藤新一氏

11:15 (仮)トラック分野におけるガス燃料車の普及について
国土交通省 江角直樹氏

12:05 討議

12:15 休憩

司会 北川敏明氏(九州大学)

13:15 軽油着火天然ガスデュアルフュエル燃焼の改善
京都大学 石山拓二氏

14:05 ガスエンジンの燃焼シミュレーション
—素反応モデルに基づく3次元燃焼解析—
(独)産業技術総合研究所 脇坂知行氏

14:55 討議

15:05 休憩

司会 山根公高氏(東京都市大学)

15:20 インド マルチスズキ CNG/LPG Bifuel 車の開発
スズキ(株) 田中将秀氏

16:10 グリーンガスエンジンの開発
川崎重工(株) 野中洋輔氏

17:00 討議

17:10 閉会挨拶 早稲田大学 草鹿 仁氏

17:15 終了

*プログラムは講師、会場の都合などにより予告なく変更となる場合があります。